









# 九重町 認知症ケアパス

## ●認知症の経過と利用できる支援の一覧表

表は右にいくほど認知症が進行していることを示します。  
認知症の経過によって、利用できる支援の内容も変わってきます。  
※症状の現れ方には個人差があります。

●相談する●  
九重町地域包括支援センター  
電話：0973-76-3863

	正常	MC I	認知症		
認知症の段階	正常～軽度認知障害(MC I)	認知症の疑い～日常生活は自立	だれかの見守りが必要	手助け・介助が必要	常に介助が必要
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>□もの忘れが気になる</li> <li>□目の前の人の名前が出てこない</li> <li>□「あれ」「これ」「それ」を言うことが多くなる</li> <li>□物の置き場所が思い出せない</li> <li>□何を食べたか思い出せない</li> <li>□曜日や日付を間違えることがある</li> <li>□忘れてもヒントがあれば思い出す</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>□何度も同じことを言ったり聞くようになる</li> <li>□置忘れやしまい忘れが目立つようになる</li> <li>□鍵や財布、通帳など大事なものを失くすことがある</li> <li>□日付や時間がわからなくなる</li> <li>□買い物や金銭管理などにミスがある</li> <li>□「物を盗られた」などの発言をする</li> <li>□何をするのもおっくうになる(趣味や日課を辞めてしまう)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□服薬管理、金銭管理ができない</li> <li>□季節にあった服が選べない</li> <li>□知っている場所や家までの道で迷う</li> <li>□買い物ができない</li> <li>□昼夜逆転</li> <li>□徘徊</li> <li>□歯やロの手入れをしなくなった</li> <li>□ガスの消し忘れなど火の不始末が多くなる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>□服を着る順番がわからない</li> <li>□ボタンをかけられない</li> <li>□自宅でもトイレの場所が分からない</li> <li>□トイレの失敗が増えてくる</li> <li>□家族のことがわからなくなる</li> <li>□物を見ても、それが何かわからなくなる</li> <li>□洗面や歯磨き、化粧に手助けが必要</li> <li>□箸の使い方がわからない</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>□歩行が困難</li> <li>□車いす・ベッド上での生活が中心</li> <li>□食事が飲み込みにくくなりむせて肺炎を起こしやすくなる</li> <li>□言葉による意思疎通・理解が困難</li> </ul> 
本人の気持ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>●忘れっぽくなった</li> <li>●ちょっといつもと違う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●何かおかしい</li> <li>●戸惑い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●できないことも増えるができることもあることをわかってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自信が無くなって不安で孤独</li> <li>●何もわからない人だと思えないでほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表情やしぐさで思いを伝えることができる</li> <li>●感謝している</li> </ul>
家族の気持ち	否定、年のせい、言えばできるはず		混乱・認知症の症状に振り回されてしまう、自分だけがなぜと拒絶・介護疲れ		割り切り・受容・どう看取るか
家族の心がまえ	●認知症や介護保険のことを学び理解しましょう	●腹が立って当たり前。一人で抱え込まず、介護仲間を作りましょう	●頑張りすぎないで、介護保険サービスを活用しましょう	●まずは自分の健康を大切にしましょう	●終末期ケアについて確認しましょう
対応のポイント	<p>気づき～相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域との交流をもちましょう</li> <li>●運動をしたり食事の見直しをしましょう</li> <li>●年齢のせいにはせず、気になり始めたら、早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう</li> </ul> 	<p>介護保険の申請など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メモを取ったり、置き場所や段取りを張り紙にしておきましょう</li> <li>●できることは本人に任せて、できないことを手助けしましょう</li> <li>●否定はしないようにし、一緒に対応する等しましょう</li> <li>●ミスしたことを叱ったりせず改善策を検討しましょう</li> <li>●専門医を活用し、服薬管理をできる体制を整えましょう</li> <li>●かかりつけ医の受診を継続しましょう</li> <li>●介護保険サービス検討しましょう</li> </ul> 	<p>日常的な支援、行動心理症状や身体合併症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火の始末や道に迷うなど、思いがけない事故に備えて安全対策を考えましょう</li> <li>●介護のつらさを一人で抱え込まず、親族や近所などの身近な人には伝え、理解者や協力者を作りましょう</li> </ul> 	<p>重度・終末期ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●表情やしぐさなど、言葉以外のサインを大切にしましょう</li> <li>●体調の変化に気づきにくくなるため、体調管理に気をつけましょう(水分・食事摂取量、便秘・下痢、発熱など)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉がうまく出なかったり、思いを伝えることができず、手を握るなどのスキンシップでのコミュニケーションを心がけましょう</li> <li>●最期の迎え方について医療・介護の専門職に相談し家族で話し合っておきましょう</li> </ul>

支援の内容（制度やサービス）

相談窓口	もの忘れや認知症が心配な時の相談：地域包括支援センター、九重町もの忘れ支えあい支援チーム、もの忘れ相談室、役場健康福祉課、保健センター、県などが開設する相談窓口
	介護保険についての相談：ケアマネジャー（介護認定を持っている方）、地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）
予防	いきいき“夢”サロン、ふれあいプラザサロン
	ほほ笑い教室、短期集中リハビリ教室
医療	診断を受ける：かかりつけ医、認知症疾患医療センター等の専門病院、もの忘れ外来
	かかりつけ医（病院名：                      電話：                      ）、かかりつけ歯科医（病院名：                      電話：                      ）、かかりつけ薬局（薬局名：                      ）
	訪問診療・訪問歯科・訪問看護
家族支援・見守り・生活支援	交流や情報交換の場：オレンジ（認知症）カフェ、認知症の人と家族のつどい
	民生委員、認知症サポーター（認知症と方とご家族を見守る応援者）、小地域ネットワーク活動（見守り・訪問・声かけ、発見・通報、援助）、給食サービス、ふれあい郵便
	ふれあい食堂、寄り合カフェ、ささえあいサービス
	緊急通報システム、緊急キット設置
	社会福祉協議会福祉器具・福祉車両の貸出、軽度生活援助事業（草刈りなど）
	権利擁護：日常生活自立支援事業（あんしんサポート）、成年後見制度
	運転免許証の自主返納
九重町高齢者等SOSネットワーク事業、九重町認知症高齢者等個人賠償責任保険	
介護	介護保険サービス
住まい	認知症高齢者グループホーム
	自宅、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム
	介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護療養型医療施設
	福祉用具の貸与や購入、住宅改修